

平成 28 年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

(今週の 5 月 5 日木曜日は「こどもの日」で閉庁日のため、翌 6 日金曜日の発行となっています。)

次回の発行日は平成 28 年 5 月 19 日(木)となります。

◆ 目次

1 平成 28 年熊本地震情報

・「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載しています～事業復旧関連情報や関連リンクも多数掲載～

2 現場レポート

・ゴールデンウィーク前に貸切バスの街頭監査を実施

・フェリーの火災対策の強化に向けて～消火プランの作成と消火活動の教育訓練を～

3 お知らせ

・平成 28 年春の叙勲受章者と平成 28 年春の褒章受章者が発表されました

・夏季の軽装「クールビズ」が始まりました～5 月 1 日から 9 月 30 日まで～

4 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

1 平成 28 年熊本地震情報

◆「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載しています～事業復旧関連情報や関連リンクも多数掲載～

国土交通省ではホームページに「平成 28 年熊本地震関連情報」コーナーを設け、「被災者の皆様への暮らし関連情報」には被災地にお住まいの方々に必要な情報を掲示しています。また、事業復旧関連情報や関連リンク情報も掲示しています。

どうぞ次の URL からご覧ください。

【国土交通省】

◇被災者の皆さまへの暮らし関連情報

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004710.html

2 現場レポート

◆ゴールデンウィーク前に貸切バスの街頭監査を実施

国土交通省では、平成 24 年 4 月に発生した関越道高速ツアーバス事故を受け、貸

切バスの安全確保のため効果的な監査を行う街頭監査制度を新設し、街頭監査を実施しているところでしたが、本年1月15日に長野県軽井沢町で、乗員・乗客15名が死亡し、乗客26名が重軽傷を負うという軽井沢スキーバス事故が発生しました。この事故を受け設けられた軽井沢スキーバス事故対策検討委員会は、3月29日に中間整理を行い、実効性ある対策の方向性をとりまとめたところです
※中間整理の概略は次のURLからご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000238.html

こうした中、九州運輸局では、ゴールデンウィーク直前の4月28日に、JR博多駅筑紫口にて貸切バスに対して街頭監査を実施しました。

当日の午前10時30分に貸切バス駐車場に参集した九州運輸局及び福岡運輸支局の監査員10名は、駐車中の貸切バス運転者に、酒気帯びや過労運転の有無、健康状態の把握状況、点呼の有無等を次々に質問し、正午までに貸切バスの監査を終えました。貸切バス2台を監査した結果、法令違反は確認されませんでした。また、シートベルトの着用徹底についても指導を行いました。

貸切バスの安全確保の徹底は喫緊の課題であり、軽井沢スキーバス事故対策検討委員会の中間整理での検討のポイントである「貸切バス事業者に対する事前及び事後の安全性のチェックの強化」「運転者の技量のチェックの強化」「ハード面の安全対策の充実」「旅行者等との取引環境の適正化」「利用者に対する安全性の〈見える化〉」など、事故の再発防止に向けて九州運輸局は今後も取り組んでいきます。

街頭監査の様子は、次のURLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_331_1.pdf

(自動車交通部 自動車監査官)

◆フェリーの火災対策の強化に向けて

～消火プランの作成と消火活動の教育訓練を～

国土交通省では、平成27年7月に苫小牧沖で発生したフェリーの火災事故を踏まえ、フェリー火災対策検討委員会を設け、フェリーにおける消火活動の課題について検討を行い、今後の火災対策の方向性として、「発火源や危険箇所の洗い出しに基づき消火プランを作成すること」「消火プランに基づく消火活動を迅速かつ確に実施するため、教育、訓練及び操練を行うこと」が合意され、各フェリー事業者が消火プランを作成するにあたっての手引きを承認したところです。

こうした中、九州運輸局ではフェリー事業者の運航管理者等を対象とした「フェリーにおける火災対策の実施にかかる説明会」を、鹿児島市(4月22日)及び福岡市(4月26日)にて開催しました。

説明会には、2会場延べ29社のフェリー会社から運航管理者や副運航管理者など90名の参加者があり、第1部の「フェリーの車両甲板における火災対策等について」では車両火災の消火実験のビデオ放映もあり、火災の基礎知識や火災発生時における初期消火の重要性等を、「消火活動に関する教育訓練について」では実践的な訓練等の必要性を、国土交通省海事局安全政策課の小柳・安全政策調整官が熱く語りました。

第2部では「消火プランの作成等について」と題し、フェリー火災対策検討委員会が作成した「フェリー事業者による消火プラン作成の手引き」の説明がなされ、事業者の皆さんも早期の消火プランの作成の必要性を実感されていたようです。

また、質疑応答では「車両甲板火災時、ランプドアを開放することや送風機等により空気の流れを作って、必ず風上から消火活動を行うこと」との説明に対し、「かえって火の勢いが強くなるのではないか？」という質問がありましたが、「事業者の方は皆さんその点を心配されるが、煙が充満して視界が奪われたり、一酸化炭素等有毒ガスを吸い込む方が危険であり、風のコントロールをすることが大型フェリーでは重要である」との回答に、質問者の方も納得され、フェリー事業者としての安全対策への高い意識が感じ取れました。

海上における人命、船舶の安全及び貨物の保全を図るため、九州運輸局では今後も更なる安全対策の実施に向け取組を進めていきます。

説明会の模様は次の URL からご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_331_2.pdf
(海上安全環境部 運航労務監理官)

3 お知らせ

◆平成 28 年春の叙勲受章者と平成 28 年春の褒章受章者が発表されました

平成 28 年春の叙勲受章者と平成 28 年春の褒章受章者が発表され、九州運輸局関係では、叙勲、褒章ともにそれぞれ次のとおり 3 名の方々が受章されました。

【平成 28 年春の叙勲受章者（平成 28 年 4 月 29 日付け）】

◇旭日小授章（自動車運送事業振興功労） 草水正義氏・元 草水運送株式会社代表取締役・元 一般社団法人宮崎県トラック協会会長

◇旭日双光章（自動車運送事業振興功労） 廣津 厚氏・株式会社公益社代表取締役・一般社団法人全国霊柩自動車協会福岡県霊柩自動車協会会長

◇瑞宝双光章（運輸行政事務功労） 池田賢一氏・元 九州運輸局長崎海運支局船舶検査長

※伝達式は 5 月 11 日(水)午後 1 時 20 分から、ザ・プリンスパークタワー東京で行われます。

※国土交通省関係の叙勲受章者名簿はこちらから。

<http://www.mlit.go.jp/common/001130014.pdf>

【平成 28 年春の褒章受章者（平成 28 年 4 月 29 日付け）】

◇黄綬褒章（業務精励（旅館業務）） 中山ヤス子氏・株式会社中山荘会長（女将）

◇緑綬褒章（社会奉仕活動功績） 前蘭津子氏・環境美化奉仕者

◇藍綬褒章（海運事業振興功績） 竹永健二郎氏・九州郵船株式会社社長・一般社団法人日本旅客船協会副会長

※伝達式は 5 月 17 日(火)午後 2 時から、国土交通省にて行われます。

※国土交通省関係の褒章受章者名簿はこちらから。

<http://www.mlit.go.jp/common/001129776.pdf>

(総務部 人事課)

◆夏季の軽装「クールビズ」が始まりました

～5 月 1 日から 9 月 30 日まで～

今年度も夏季の軽装「クールビズ」の季節となりました。

※軽装とは、ノーネクタイ、ノー上着を言います。

九州運輸局でも、地球温暖化防止及び省エネルギーのため平成 28 年 5 月 1 日から 9 月 30 日までの間、執務室内の冷房温度の適正化に努め、軽装にて執務を行います。

皆様方におかれましても、趣旨をご理解の上、可能な限り夏季の軽装励行を実施されますようよろしくお願いいたします。

また、来局の際は、軽装でお越しくくださいますよう併せてお願いいたします。

(交通政策部 環境・物流課)

4 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

熊本地震から 3 週間余りが過ぎましたが、依然 1 名の方の安否が不明であり、まだまだ多くの方が避難所で不自由な生活を余儀なくされています。一刻も早い被災地の復旧・復興のため、九州運輸局も全力を挙げて取り組んでまいります。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
